

私達の考える 指導者の条件

2015年6月19日（金）

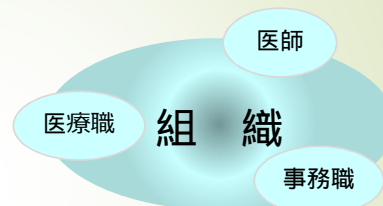
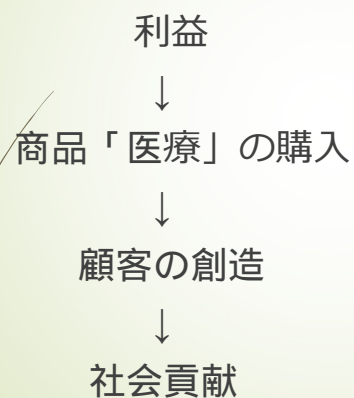
第三期 マネジメント研修生

B.T.

T.S.

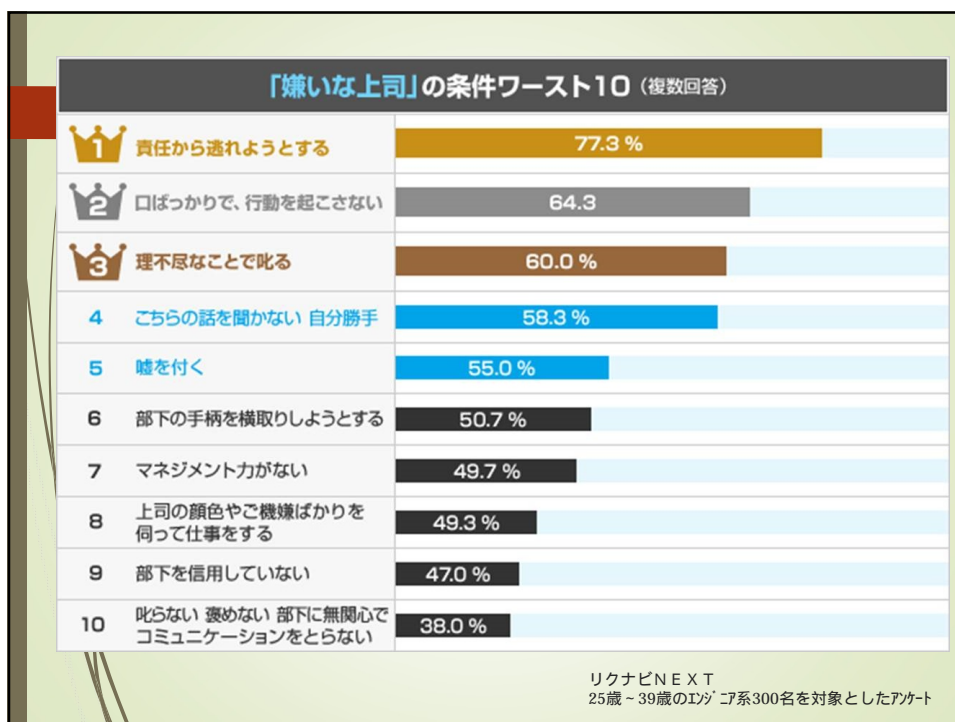
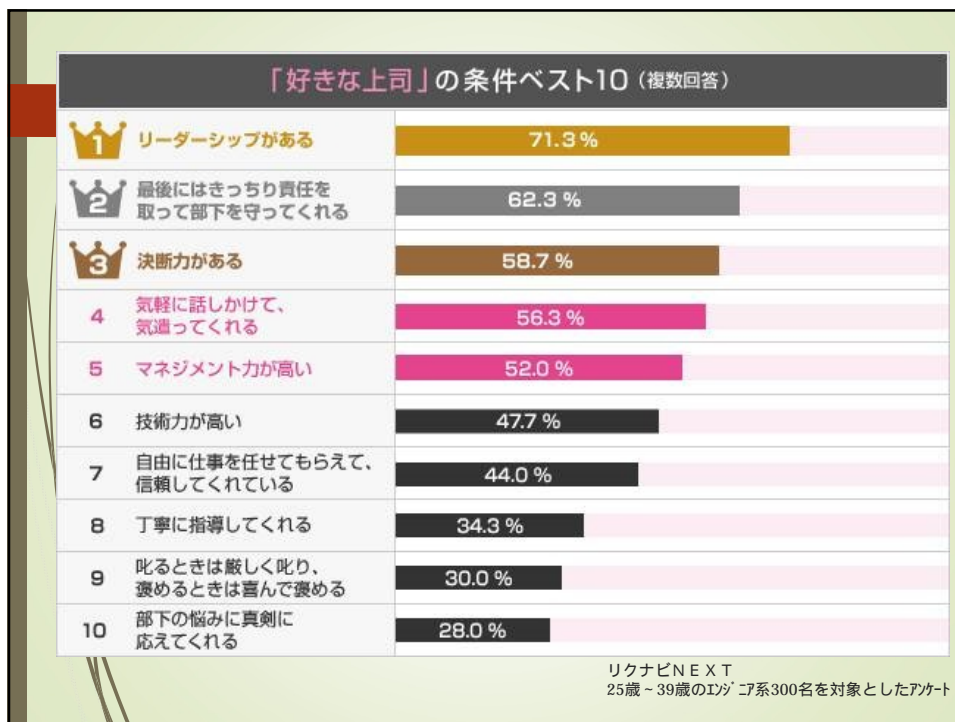
T.K.

1. 会社（組織）を継続・発展させて
いくためには、どうしたらよいか？



指導者とは??





4.リーダーシップとは

(1) 信念、忍耐、努力による一貫性

- ・目 標 ← 経営計画書
- ・一貫性 ← 信念（努力と忍耐）

「リーダーシップは賢さに支えられるものではない、
一貫性に支えられるものである。」

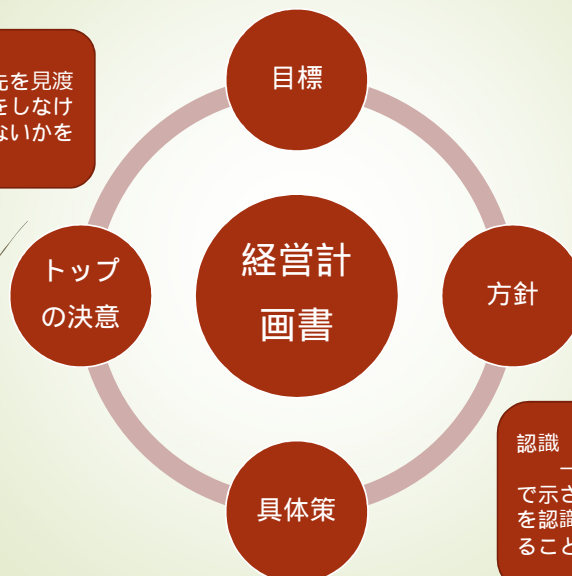
～ドラッカーより～

自分の信念をどこまで貫けられるかが重要。

(2) 経営計画書の重要性

逆算

常に先を見渡し、
今何をしなければならぬかを
考える。



認識

一人一人に計画書
で示された会社の目標
を認識させ、実行させ
ることが重要。

(3) マネジメント力

- ・ マネジメントの役割
 - ミッションを果たし、労働者たちに成果を上げさせ、社会的貢献を行うこと。
- ・ 成果を上げさせるには
 - 部下の限界を把握することが重要。
 - その人の強みを最大限に延ばし、弱みを最小限にし、意味のないものにするため。

リーダーのやるべきこと

ルールで縛るのではなく、人をリードし、伸ばした強みが組織の成果につながるよう指導すること。

(4) コミュニケーション能力

- ・ コミュニケーションを取ること。
= 個々の性格、得意なもの等を理解する。
- ・ コミュニケーションの取り方。
 - 大勢の率直な意見に耳を傾けなければならない。
 - 一方向の情報を鵜呑みにしてはならない。
 - 逆の意見を取り入れることにより、自分の視野が広がる。

リーダーシップは、

地位、権力、名誉
ではない！！

- ・人のせいにはしてはいけない。
- ・地位があるから人が従うこともない。
- ・権力があるからその人の言うことが正しいわけではない。

真摯さに魅かれ
信用信頼する

真摯さ

組織を
破壊

- ・真摯さに魅かれ、信用・信頼しその人をリーダーと認める。
- ・真摯さはスキルの向上や仕事の理解では補うことが出来ない。
- ・真摯さに欠けていると組織を破壊する。

いつまでも人は理想的な指導者で
いられるのだろうか？

指導者の地位を利用。
周りからの圧力や期待。
自己過信し、情報遮断。



滅亡、失敗、失脚の第一歩

どのような心がけをすべきか・・・

- ・ 自己点検を怠らず、常に将来を見据えていく。
- ・ 自分に厳しくしていく。
- ・ 部下の様々な意見を聞き、良いものを取り入れていく。
- ・ 謙虚な態度で、慎重な発言をする。
- ・ 会社に何が必要な事か常に考える。

「草創と守文といずれが難き」
～帝王学～より
→ 維持していくことが難しい。

私たちの考える指導者とは。

1. 一貫性がある。
2. 自分をマネジメントできる。
3. 数字に強い。
4. 観察力がある。

そして・・・

「真摯さ」